

ASフォーム工法

【農林水産省：開水路補修・補強工事マニュアル(案)品質規格 適合】 【ARIC 農業農村整備新技術登録 No.264】 【下水道事業団 防食指針D種】



特長

ASフォーム工法は、ASフォーム（高耐久性レジンコンクリートパネル）の様々な優れた特性を活かした既存構造物の補修工法です。
また、新設構造物の埋設型枠として適用する事により、構造物の耐久性が向上し、ライフサイクルコストの低減を図ることができます。

- 1 耐摩耗性に優れています。（普通コンクリートの約10倍の耐摩耗性）
- 2 水理特性（平滑性）に優れています。（粗度係数：0.0084）
- 3 パネル裏面突起は凸凹に形成されており、裏込め材との付着性に優れています。
- 4 塩害・中性化・凍害・腐食性等に対する耐久性に優れています。
- 5 埋設型枠であるので施工時に型枠の必要がありません。
- 6 標準被覆厚→パネル厚：10mm+裏込め材：10mm～（現場条件に応じて変更対応可能です）

物性

物性値一覧

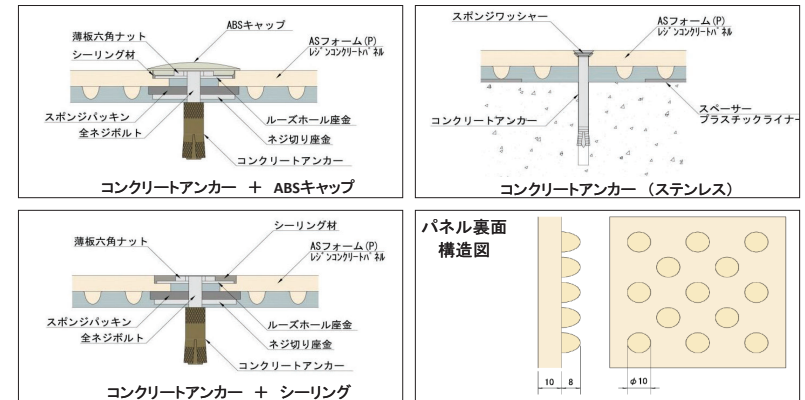
項目	特性値
圧縮強度	80N/mm ² 以上
曲げ強度	20MPa以上
静弾性係数	20GPa以上
耐摩耗性	普通コンクリートの約9.4倍
凍結融解抵抗性	105%

※上記の値は、規格値ではありません。

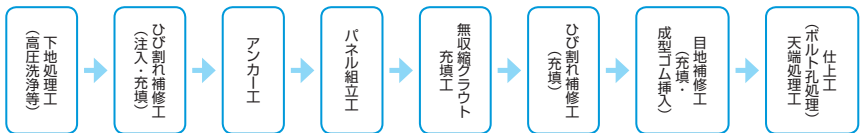
構造他

項目	特性値
板厚（突起部含む）	10（18）～30（38）mm
質量	25kg/m ² （t=10mm）
密度	22kN/m ³
ASフォーム製造可能範囲	2000（Max）×1000（Max） 板厚：30（38）mm

断面図



施工フロー



施工事例

■ 既設柱の耐震補強対策



高架橋柱部材の耐震補強

■ 凍害劣化躯体の耐久性向上対策



水利施設補強

■ 塩害・腐食・鉄筋かぶり不足対策



下水処理施設補修

■ コンクリート増厚による補強・耐久性向上対策



導水路トンネル補修